

ナウマン通信



2021年
6月4日発行
第8号

大阪市立我孫子南中学校

のび太という生き方 Part2

昨年の「ナウマン通信第35号」で『のび太という生き方』という本を読んで感じたことをみなさんに紹介しました。今回はその本とは関係ないのですがジャイアンについて感動するお話を見つけたので紹介したいと思います。ジャイアンといえば常にのび太をいじめ、ばかにしているシーンが多いですが時には友達思いのやさしさと強さを見せる人物です。こんなシーンがありました。みんなは何を感じるかな？



のび太が、大切な小学校の入学式に向かう途中、ランドセルを失くしてしまいました。新品のランドセルをもらって、嬉々として喜んでいたのび太は、無くしてしまったランドセルを、学校にいかずに探しに向かいます。

あと30分で入学式が始まるという時、のび太はランドセルが見つからず、まだ小学校にはきていません。いてもたってもいられなくなったジャイアンは、「俺も探しに行く」と、のび太を探すために学校を抜け出し、走り出しました。

のび太は、ランドセルが荷台にあるトラックを見つけ、追い掛けました。何かの拍子で、ランドセルは、トラックに乗ってしまいました。もちろん、トラックには、追いつけません。

そこにジャイアンが駆け付け、のび太から事情を聞いて「俺に任せろ！」とトラックを全力で追いかけるはじめました。

ジャイアンは坂の上から、トラックめがけて全速力で駆け下ります。ふいに、トラックが大きく揺れて、ランドセルが投げ出されました。それにジャイアンが飛びつき、キャッチしたものの、道路に転げ落ちました。

ゴロゴロ~~~~~と、ジャイアンは数回激しく転がり、立ち上がりました。

入学式用の卸したての服は泥々になり、髪もボサボサ、靴もボロボロになってしまいました。

そんなこと気にも留めずに、ジャイアンは笑顔で、のび太にランドセルを渡しました。「入学式、いそがないと遅刻しちゃうぞ、一緒に走ろう。」

のび太は、何故ランドセルを追いかけてくれたのか、聞きました。

ジャイアン「お前のものは俺のもの！俺のものは俺のもの！」

最後の最後にジャイアンの名言の一つ「お前のものは俺のもの！俺のものは俺のもの！」が出ましたが、本当にそう思っていたらこんな行動にはなっていないことでしょう。ジャイアンのやさしさの照れ隠しから出た言葉だと校長先生は思います。だからこの言葉も校長先生には「**お前の友達**は俺！俺の**友達**はお前！」という風に聞こえてきます。こんな仲間がいると幸せですね。君たちもきっと仲間にとっとしたやさしさを持つことでこんな関係が作れると思います。ああ~~~~~ジャイアンカッコいい！

